

たきのうえ 議会だより

平成27年4月22日 第159号



4月1日 こども園入園式

3月定例会

もくじ

平成27年度予算・予算質疑	1～4
平成26年度補正予算・条例の一部改正他	5～7
グリーンたきのうえ・たきのうえドリーム経営計画	8
一般質問 4議員が登壇しました	9～13
議長挨拶	14

3月定例会

00万円

19億2380万円

3月定例会が3月3日から5日まで開かれ、平成27年度一般会計予算ほか28議案、報告5件を審議し、全議案を可決しました。

平成27年度
一般会計 前年対比

13・0%の減

一般会計

平成27年度の一般会計・5特別会計・1事業会計の予算案が3月4日に提案され、副町長から新年度予算についての概略説明、各担当課長からの内容説明が行なわれた後、本会議において審議され可決されました。

一般会計が前年と比べ減少した要因は、平成27年度は町長・町議の改選期の年であり予算は骨格予算となっているためです。

特別会計・事業会計は前年比2・7%の減となり、一般会計を合わせた全会計では9・6%の減となっています。

策事業 569万円

緊急雇用奨励対策事業 600万円

定住促進空き家活用事業 35万円

固定資産家屋一棟調査業務 449万円

西紋別地区環境衛生施設組合し尿処理負担金 1499万円

西紋別地区環境衛生施設組合しゴミ処理負担金 3184万円

特産品開発事業 146万円

農業競争力強化基盤整備事業 20万円

林業専用道開設事業 1億824万円

特定増殖事業 79万円

森林認証整備事業 38万円

芝ざくら滝上公園管理委託料 3853万円

観光PR経費 1809万円

観光施設駐車場区画線補修事業 83万円

人事評価制度構築・導入支援業務 250万円

公用車購入費 377万円(2台)

総合行政システム改修業務 2390万円

総合行政システム等クラウドサービス 1490万円

地域おこし協力隊事業 1446万円

地域公共交通確保対

草地畜産基盤整備事業再編整備事業補助金 6914万円

特産品開発事業 146万円

農業競争力強化基盤整備事業 20万円

林業専用道開設事業 1億824万円

特定増殖事業 79万円

森林認証整備事業 38万円

芝ざくら滝上公園管理委託料 3853万円

観光PR経費 1809万円

観光施設駐車場区画線補修事業 83万円

橋梁長寿命化修繕事業 6180万円

公営住宅建設費等補助事業 945万円

文化センター音響設備 317万円

滝上中学校耐震補強事業 4245万円

水泳プール改修事業 211万円

野球場改修事業 100万円

一般会計

平成27年度骨格予算

34億5155特別・1事業会計

草地畜産基盤整備事業
再編整備事業
6914万円

林業専用道開設事業
1億824万円

人事評価制度構築導入
支援業務委託料
250万円

総合行政システム
改修業務
2390万円

橋梁長寿命化
修繕事業
6180万円

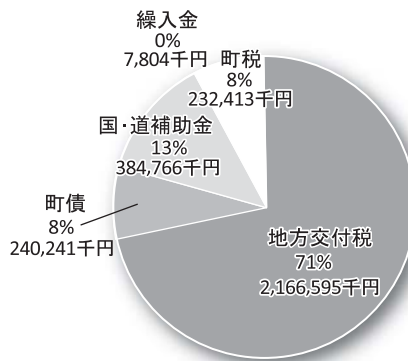
滝上中学校耐震補強事業
4245万円

主
な
事
業
予
算

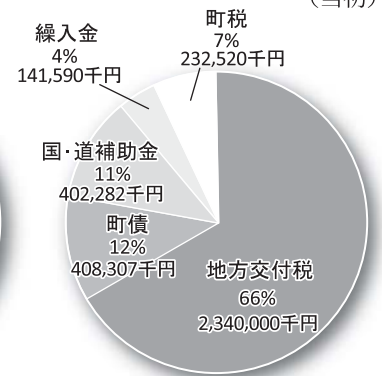
各会計予算額 (千円)

各 会 計	27 年 度	26 年 度 (当初)
一 般 会 計	3,451,032	3,968,726
後期高齢者医療特別会計	50,650	51,999
国民健康保険特別会計	446,940	397,908
介護保険特別会計	372,912	351,664
下水道特別会計	131,338	136,226
水道特別会計	59,370	58,383
国民健康保険病院事業会計	862,598	980,910
合 計	5,374,840	5,945,816

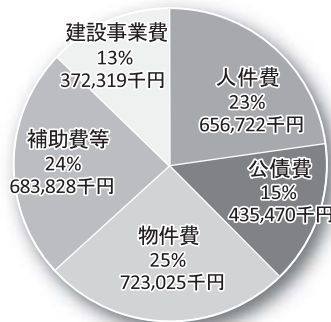
平成27年度歳入性質別



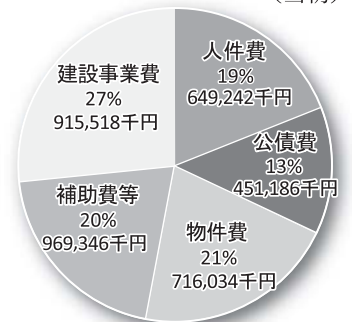
平成26年度歳入性質別 (当初)



平成27年度歳出性質別内訳



平成26年度歳出性質別内訳 (当初)



予算を慎重に審議

歳入

寄付金

ふるさと納税

△菅原議員▽

平成26年度のふるさと納税はどのくらいあったか。

△齋藤まちづくり推進課長▽

件数でいくと136件。金額は150万3千円です。内訳は芝ざくらで81件、植樹24件、町内会活動等31件となっております。

歳出

総務費

特別職報酬等審議会経費

△大原議員▽

いろいろ調べてみると別に特別職の報酬を変えなくても何年か1回今の報酬が適正かどうか審議している自治体もある。

滝上町は報酬を変えるときだけ諮問するという考えで良いか。

△齋藤総務課長▽

ベースとなるのは、一般職の人事院勧告の給与が著しく上下したとき、特別職の報酬についても一定の整理をするということでも諮問してきました。今後その方向で進めていきたい。

定住促進空き家活用事業

△大原議員▽

PRは町のホームページだけか。外に考えは。

△齋藤まちづくり推進課長▽

国の移住ホームページサイト、移住関係の専門雑誌、道の町づくり観光センターで都市からの移住に関するサイトを活用する予定です。



ちょっと暮らし住宅内部（旧白鳥小教員住宅）

地域おこし協力隊事業

△松ヶ瀬議員▽

1446万円と額が大きい内容について説明をして欲しい。

△齋藤まちづくり推進課長▽

報償費で3人分、共済費の社会保険料3人分。旅費としてイベント参加等の自主研修。活性化センターで営業しているカフェの賄料代等、負担金・交付金として、協力隊の活動経費として計上しております。

この経費については、国から特別交付税とし

て一人当たり上限400万円が財源措置されています。

△松ヶ瀬議員▽

これだけの経費を掛けて一人辞め、補充する。3年経ったとき結果を出すという部分がこの事業にないような気がする。

せっかく協力隊の方が活動していただくのだから少しでも将来の滝上のために役立てなければならぬ。何か結果が見えてこない。

△長屋町長▽

地域おこし協力隊が作られた背景は都会に住む人たちが地方に移住し、いろんな取組、住民との関わりを通じて気に入ってもらって定住することを狙いとされている。当人が3年間いたいと判断すれば手当がなされるという内容。3年経過し6割・7割が定着している地域もあるし、中には



地域おこし協力隊が運営している「ひだまりカフェ」

民生費

こども園燃料費

△大原議員▽

こども園の燃料費488万円だが、濁川小学校だと390万円で割高ではないか。

灯油、チップ、ペレットを比較した資料があれば教えて頂きたい。

27年度各会計

△奥田生涯教育課長▽

比較表は今持つておりません。

ただ、ペレットが年間6万4千キロ、サブボイラーの重油が8千リッターで、積算額が488万円となります。

△大原議員▽

ホテル溪谷の時は重油ボイラーとチップボイラーにした場合の比較をして導入した。チップボイラーの方が安く環境に優しいということだったが、ペレットボイラーについて特に比較はしていないということの良いか。

△奥田生涯教育課長▽

導入の趣旨は経費よりも二酸化炭素削減等がメイン。チップボイラーは施設の合わないので町の方針でペレットボイラーを導入しました。

農 林 業 費

農業競争力強化基盤整備事業

△三島議員▽

この事業は畑作農家の整備ということだが、参加する農家戸数と実施内容、負担率はどうなるのか。

△野尻農政課長▽

実施農家は7戸です。内容は、暗渠排水・除礫・心土破碎・客土の4つの工種に基づいて実施します。負担率は国・道で80%、地元負担20%となっております。

△三島議員▽

農政課で65歳以上の農家を対象に今後の営農等について会議を開催しているが、その結果を知りたい。

△野尻農政課長▽

65歳以上で後継者不在の畑作農家13戸を対象に実施し、様々な意見を聴取いたしました。

現在方向性についてまとめているところです。

今後生産団体・JA等とも協議をしながら早いに振興計画を整備したいと考えております。

雑用水施設

△大原議員▽

施設ができてから4年以上経過していると思うが、本管がパンクでもすると多くの人に負担がかかる。計画的な改修計画はないのか。

△野尻農政課長▽

耐用年数を超えた施設が多いことから、今後計画性を持った対応を考えております。雑用水及び畑かん施設は国営で作った施設ですので、町の負担が最小限になるよう国の補助事業で取り組めないか上部機関と協議中です。

シカ肉アヒージョ製造

△菅原議員▽

シカ肉の生産はどのくらいあるのか。またどこで販売するのか。

△野尻農政課長▽

100gのパックを20000パック製造。販売先は道の駅、ホテル溪谷、札幌のホクレンテナントショップ等で扱う予定です。

△菅原議員▽

シカ肉だけでなく七面鳥等も滝上の特産品として認知されている。新しい開発を切に望む。

森林認証整備事業

△大原議員▽

SGECは国内の単なる認証だが、東京オリンピックの関係で国際認証にしたらという話が出ている。事業者にとつて、費用が莫大にかかると考える。情報があれば教えていただきたい。

△吉田林政課長▽

そういう動きがあるのは承知していますが、詳しい情報はまだ入っていません。

△大原議員▽

例えばISOの国際認証を受けるとなると4年で数百万かかるらしい。SGECは国際認証までならなくても良いのではないかと。

△吉田林政課長▽

情報を得た中で検討したいと考えております。



シカ肉アヒージョ

平成26年度補正予算 (主に予算整理)

一般会計

歳入歳出予算を8億4314万円減、総額を40億2613万円としました。

△歳入▽

▽地方交付税
1565万円増

▽地方消費税交付金
1490万円減

▽自動車取得税交付金
600万円減

▽草地畜産基盤整備事業分担金
1839万円減

▽滝上公園入園料
490万円減

▽がんばる地域交付金
2943万円増

▽地域住民生活等緊急支援のための交付金(消費喚起・生活支援型)
900万円増

▽地域住民生活等緊急支援のための交付金(地方創生先行型)
2980万円増

▽臨時福祉給付金給付事業交付金
481万円減

▽地域住宅交付金
920万円増

▽障害者自立支援給付費負担金
331万円減

▽地域ふれあいプレミ

△ム付商品券発行促進事業交付金
200万円増

▽草地畜産基盤整備事業補助金
740万円減

▽森林環境保全整備事業補助金
858万円減

▽森林管理道雄鎮内線開設事業補助金
289万円減

▽林業専用道開設事業補助金
875万円減

▽土地売払収入
305万円減

▽立木売払収入
432万円減

▽建物売払収入
333万円増

▽財政調整基金繰入金
1億2576万円減

△歳出▽
▽総合行政システム等電算関係経費
408万円減

▽ふるさとづくり基金積立
150万円増

▽総合戦略策定事業
800万円増

▽定住促進空き家活用事業
16万円増

▽街中屋外時計・温度計設置事業
14万円減

▽地域おこし協力隊募集採用選考業務
112万円増

▽芝ざくら滝上公園等観光振興事業委託料
600万円増。

▽知事道議会議員選挙執行経費
278万円増

▽臨時福祉給付金給付事業
470万円減

▽子育て応援券発行事業
374万円増

▽児童館解体事業
830万円減

▽ハッカ作付面積拡大推進事業
250万円減

▽草地畜産基盤整備事業再編整備事業
3277万円減

▽国営土地改良事業借入金償還金
238万円増

▽新規就農者対策経費
280万円減

▽特産品開発事業
8万円減

▽有害鳥獣駆除
179万円減

▽森林管理道雄鎮内線開設事業
567万円減

▽林業専用道開設事業
995万円減

▽森林環境保全整備事業
2145万円減

▽プレミアム商品券発行事業
880万円増

▽芝ざくら滝上公園委託料
450万円減

▽観光PR
357万円減

▽ホテル溪谷委託料
338万円増

▽町道除雪業務
592万円増

▽橋梁長寿命化修繕事業
455万円減

▽まち並み創生事業委託料

1400万円増

▽森林認証材活用住宅奨励補助事業

200万円減

▽公営住宅建設費等補助事業

1873万円増

▽雇用促進住宅整備検討事業

500万円増

▽滝上高校振興協議会補助金

574万円減

質 疑

※定住促進空き屋活用事業

△三島議員▽

昨年家具・家電等入られて残額を減額しておりますが、1年間今まで利用がなされていない。どのようになつて

いるのか。

△齋藤まちづくり推進課長▽

白鳥の旧教員住宅の一戸をちよつと暮らしの受け皿整備ということで家財道具等備品購入費でそろえました。27年度から全国から来てもらうよう広報活動していきたい。

※街中屋外時計

△大原議員▽

この事業は地域懇話会で意見が出て実施するという説明があつた。今回発行された広報たきのうえではまちづくり審議会からの意見だと書かれていた。どちらが本当か。

△齋藤まちづくり推進課長▽

まちづくり審議会の中ではデザイン等について意見をもらうことで提案し、一定の審議をしました。

元々の案については地域懇話会から出たものです。

△大原議員▽

この時計については我々議員も町民から批判されている。その際町民には地域懇話会から出た話だと説明しており、今回このように広報に掲載されると嘘の説明をしたことになりかねない。十分注意をして頂きたい。

※臨時福祉給付金給付事業

△富樫議員▽

対象者が何名でまだ受け取りにきていない方は何名か。また、周知方法を聞きたい。

△福川保健福祉課長▽

対象者については896人ですが町外で扶養に入っている方もいるので正確な人数は抑えていません。

申請者は620人で対象外の方もいて、結果551人に交付いたしました。周知方法は、

広報、ホームページ、高齢者が集まる行事における呼びかけ等です。

※特産品開発事業

△大原議員▽

実績としてどのようなものができたか。今後、事業化に繋がるとののか。

△野尻農政課長▽

山の幸活用事業の関係でカレー又はニンニクとオリーブを添えたシカ肉の煮込みの試験研究を実施しています。又シカ肉、豚、牛のソーセージを作成し新年度の展開を図っていきたい。

※森林環境保全整備事業

△大原議員▽

一、現在の町有林から出る木材はパルプ用だけで、製材用がないのではないかと。製材用を出せば事業費の削減になり、製品の売上げ

収入の増になるという意見がある。

二、作業道について、山を荒らし過ぎてはいないか。林政課はどのように業者を指導しているのか。

△吉田林政課長▽

一、昨年の間伐の実績を見ると決してパルプだけでなく一般材の方が多く出していると認識しています。

二、林業機械の大型化により集材路道が広がるなどといった問題があります。今後、どうしたら山を傷めないか検討していきたい。業者への指導については作業道の選定及び土場位置等の指導を林政課の職員が現地で協議・監督しながら事業を進めております。

※地域おこし協力隊募集先行業務

△松ヶ瀬議員▽

26年度から3名来て

いるが、また募集するのか。

△齋藤まちづくり推進課長▽

3名の内の一人が今回自己都合により滝上を離任します。

その補充1名と、新たに福祉関係の協力隊2名募集するので合計3名に係る業務委託料を追加するものです。

△松ヶ瀬議員▽

個人の都合で離任するのは仕方ないとは思いますが、当初の約束は3年いてもらいその経験に基づいたアイデア等を活用したいという事ではないか。1年ではないかならばならない。今回新たに2人募集することだが3年ということ踏まえて頂きたい。

※総合戦略策定外地方
創生関係事業

△大原議員V

創生事業とあるが、
観光振興計画とか後期
の総合計画とか全部バ
ラバラである。町民が
理解できるように一本化
できないか。

△齋藤まちづり推進課長V

内閣府の説明では総
合戦略は人口減少対策
総合計画はあくまでも
町独自の振興策を掲げ
るものなので主旨が違
うということでした。
もし、統合して一本化
できるようになれば国
・道と協議したい。

△大原議員V

国の目的はわかるが、
分かりやすい計画でな
いと町民もついていけ
ない。国の主旨を踏ま
えながら他を調整する
とか今後考えて頂きた
い。

△近藤副町長V

総合計画の根本に童

話村構想があります。

この構想は過疎対策
でできたもので、それ
に基づいているような部
門の計画が策定されて
いて一つの本筋ができ
ます。

△大原議員V

根底に童話村構想が
あるというが、町民誰
も童話村構想を理解し
ていない。計画で目に
見えるものにしてもら
いたい。

国民健康保険特
別会計

歳入歳出予算に84
8万円追加し、総額を
4億2282万円とし
ました。

介護保険特別会計

歳入歳出予算に65
9万円追加し、総額を
3億6247万円とし
ました。

水道特別会計

歳入歳出予算に42
2万円減額し、総額を
599万円としました。

下水道特別会計

歳入歳出予算に10
8万円減額し、総額を
1億4299万円とし
ました。

後期高齢者医療
特別会計

歳入歳出予算に3万
円追加し、総額を52
10万円としました。

国民健康病院事
業会計

収益的収入及び支出
収入2971万円増、
5億4960万円とし、
支出1749万円減、
8億1190万円とし
ました。

資本的収入及び支出

収入73万円減、19
73万円とし、支出1
75万円減、1億48
81万円としました。

その他可決・承認された事項

滝上町特定教育・保
育施設及び特定地域
型保育事業の利用者
負担額等を定める条
例の制定

滝上町行政手続条例
の一部を改正する条
例の制定について

滝上町防災会議条例
及び滝上町災害対策
本部条例の一部を改
正する条例の制定

滝上町子ども園設置
条例の全部を改正す
る条例の制定

滝上町道路占用料徴
収条例の一部を改正
する条例の制定

滝上町指定地域密着
型介護予防サービス
の事業の人員、設備
及び運営に関する基
準を定める条例の一
部を改正する条例の
制定について

滝上町指定地域密着
型サービスの事業の
人員、設備及び運営
に関する基準を定め
る条例の一部を改正
する条例の制定につ
いて

地方教育条例の組織
及び運営に関する法
律の一部を改正する
法律の施行に伴う関
係条例の整備等に関
する条例の制定

手数料条例の一部を
改正する条例の制定

指定管理者の指定に
ついて

- ・施設の名称
滝上町木質バイオマ
ス製造施設
- ・指定する団体の名称
滝上林業協同組合
代表理事 江本博幸

(株)たきのうえドリーム・(株)グリーンたきのうえの平成27年度経営計画について承認されました。

株式会社たきのうえドリームの経営計画

※木質チップ販売

△大原議員▽

営業収支報告で木質チップ販売年間500万円計上し、その仕入れ価格が470万円となっているがこれは何をやるのか。

△星商工観光課長▽

以前は林協でやっており、町としてもその方が有り難いが、現在そのような状況にありません。当面ホテルで行います。

※営業活動の強化

※経営コンサルタントの活用

△茂木議員▽

まだ26年度の途中ですが、コンサルを入れて従業員の態度に変化があったと思うが27年度も委託する考えはないのか。

△近藤副町長(社長)▽

今後、続けるかどうか

かは報告書を検討して決めたいと思います。

△三島議員▽

何とかもう1年か2年指導を願うような方向性を検討していただきたい。

※レストランについて

△菅原議員▽

調理人が代わるたびにメニューが変わるのはどうか。原価率が多少上がっても顧客の安定性を第一に考えてそれから向かうのが良いのでは。何が売れて、どこが良かったか、悪かったかよく調べて向かったらどうか。

△星商工観光課長▽

昨年は利用客のニーズに合ったメニューの開発が出来なかった。今の調理人は町民の意見をしっかりと受け止めてメニューを考えており、これから看板メ

ニュー、ニーズに合ったものを提供する体制を取っていきたいと考えております。

株式会社グリーンたきのうえの経営計画

※滝上公園維持管理業務

△茂木議員▽

約3800万円の中で味を教えて頂きたい。

△吉田林政課長▽

芝ざくら滝上公園の芝ざくらのトータルの委託費の金額で、雑草、芝桜の苗づくり、圃場管理の経費となっております。

△茂木議員▽

人件費が殆どと考えて良いか。

△吉田林政課長▽

人件費が主なものとなります。

△菅原議員▽

3800万円も人件費が掛かっているはずはない。機械とか苗木等全部入っているのでは。

△吉田林政課長▽

主なものは人件費で資材費、機械の借り上げも入っています。

△菅原議員▽

その内訳を具体的に教えて欲しい。

△吉田林政課長▽

人件費が2141万7千円。営業用消耗品232万4千円。車両費61万6千円。リース料が287万円。租税公課289万4千円。紋別のシルバー人材等に業務委託料として752万8千円。その他約35万1千円で合わせて約3800万円となります。

質 問



△茂木議員

国保病院の看護師不足等について聞きたい。

一、看護師数は4月1日現在何名か。又、必要な夜勤体制を取るには何名足りないのか。

二、看護師の募集に

問 看護師の確保するための方策は
答 待遇等改善に努め募集している

ついてどのようにしてきたのか。この先どのようにしていくのか。

三、両福祉施設（溪樹園、リハビリセンター）の介護士も不足しているが、現状単身者住宅しか用意されていないため応募者が限られるが。

四、ひとり親世帯の看護師・介護士の託児所、住宅を整備して窓口を広げるようできないか。

五、看護師不足のしわ寄せが看護補助者に行く。待遇を改善する考えはあるか。

六、救急患者の受入について、例えば滝下で患者が出て一度滝上に出てだと一刻を争う場合危険な状態になる恐れがある。他の病院と連携し、直接紋別等の病院に走ることはできないのか。

△三富病院事務長

一、三月三十一日現在の看護師総数は20名

で、最低2名の夜勤体制を取るには16名必要です。夜勤可能看護師は16名のところ3月末で4名の退職が予定されており、その分不足ということになります。

△長屋町長

二、募集についてはハローワーク、新聞折込、看護協会、看護師紹介所に実施し、待遇面でも准看護師の年俸アップや諸手当の支給等改善を図り募集している。これからは転職求人サイトを使い全国展開を図って行きたい。

三、四、両施設で子どもを預けなければならぬニーズがあるか、聴き取りをしたところ、リハビリセンターは保育の希望はない、溪樹園も問題は料金だという答えがあつた。ただ、預かり保育に関する様々な事業については今後検討していきたい。

住宅については、今まで幸町のモナルダハウスの2戸を単身者用と、単身でない方のために2戸使えるように準備している。今後も幸町のモナルダハウスは4戸を看護師専用として考えている。両施設の住宅整備も考えている。

五、看護師と看護補助者の職務内容は違う。補助者の待遇改善は考えていない。

六、今の段階では町立病院に一度入って医師の診断を受け提携先に搬送するのが基本。状態によってドクタ

ーヘリ（26年5回）や救急車で旭川日赤に搬送している実績もかなりある。

△茂木議員

看護師の募集で実際にやったことは実を結んでいない。住民の皆さんも大変不安に思っている。もっと早くから動いて欲しかった。

住宅もモナルダだけでは足りない。両施設の単身者住宅ももう少

し欲しいと聞いている。古い住宅だと魅力に乏しい。

△長屋町長

全道的に看護師不足で都市部の病院に集中している制度上の背景があるが、改善を図りながら引き続き募集していきたい。両施設の住宅も時代の流れでやむを得ない。今の若い人たちの希望に添うように今後整備していく必要がある。



般



問 医療の確保に取り組むと言っていたが

答 諸事情によりできなかった

△大原議員▽
町長は施政方針で「健康を支える医療の確保」を最重要課題として取り組むと言っていた。しかし現状は常勤医1名、4月からは看護師不足により夜間診療の中止が報告された。

現在、町の医療体制は札幌医科大学の協力で、維持されている。医大との関係維持・強化のため何を行ってきたのか。

また医師の確保のため、独自の政策があれば聞きたい。

次に看護師の就業者数は増えているが、地方勤務者は少ない。これは資質向上のため、大病院勤務を望むからです。

つまり町の奨学金制度では、看護師は集まらないと考える。現状を分析し看護師の確保に努めてみてはどうか。

最後に夜間診療の休止はいつまでに改善できるのか。

△長屋町長▽
医大の第1外科教授・医局の方には大変お世話になっている。特に、医師の紹介や週末医療体制の確保等について協議し、協力していただいている。

また院長も第1外科同門会に入会する等、関係維持に努めている。

医師の確保策として、医療機器や施設、および住宅の整備等を行っている。また現場の声も重要であり、院長と協議し医師の確保に努めていきたい。

契約看護師は職員不足の一時しのぎ策だが、報酬等の問題もあり正職員のなり手がいない。

しかし看護体制の確立には正職員の確保は急務であり、今後とも対策を講じていきたい。

町立病院の夜間診療を一時停止するが、紋別市や広域病院と連携し対応したい。

△大原議員▽
医師・看護師の確保は大変難しく、長年の課題です。町長も十分承知しているはずですが、にもかかわらず、医療体制の確保に努めると言っているのですから、実行して頂きたい。

また議会への報告が遅れたわけを聞きたい。

△長屋町長▽
常勤医が辞めた時、即時に非常勤医で対応している。また医大や地域医療振興財団とも協議している。

当初、看護師の退職は2名程度でしたが、負担が重くなる等の理由で連鎖的に増えた。事務方で慰留や新採用に努めていたため、報告が遅れた。

△大原議員▽
民間で職員が退職したら事業継続ができなくなる。経営者は退職の延期や慰留に努めるが、町長は看護師の慰留に努めたのか。

△長屋町長▽
町長はことあるごとに減給している。今回の問題で、また自分を処分する気があるのか。

△大原議員▽
病院長の設置者は町であるが、病院スタッフ

が慰留等を行うのが通常です。しかし4年前にも私が直接慰留に努めたので、今回もそうしたい。ただ年齢や家族の問題、スキルアップ等、それぞれ事情が違うので大変難しいと考える。

町民の期待に応えられなかったことは、十分反省しなければならぬ。

しかし町民の不安を解消するよう努めていきたい。

一般質問



△菅原議員

私は商工業の活性化・高齢者福祉の充実・観光産業等の発展を重点政策とし、町政を問うてきました。町長は2期目の総括

問 高齢者福祉の充実は大切だが

答 各施設・団体と協力して行って行きたい

で、公約の9割を実行できたと言っていた。また高齢者対策に取り組むと言っていたがどうなったか。

△長屋町長

未実施の公約はサービスクラスの検討です。滝上町は65歳の高齢者数の割合が既に40%超えて高齢者福祉計画の策定にあたっては

① 将来推計では高齢者数は既に頭打ちになり、数年後は減少に転ずる見込み。

② 既存の福祉施設では実質的な待機者は数名程度となり利用者の確保に不安を感じる。

③ 新しい施設の建設は利用者や不足している介護人材の取り合いになる。これらを踏まえると介護保険料は引き上げられます。

今後新たな在宅サービスを含めた検討が必

要であるというふうを考えております。

△菅原議員

町長の福祉に対する考え方は違うと思う。

何年か経ったら入所する人が減少、今後施設は空いてくるという話では、不安になると思います。

この問題は本当に重要だと思っています。

私はこの福祉政策を進めて欲しいと考えています。

医療関係等を充実しなければ更なる人口の減少となる。

△長屋町長

医療福祉施設で働く職員が不足している認識は同じです。

町も介護職員の奨学金制度を取り入れました。社会福祉協議会が行っているヘルパーも日・祝日サービスを拡大する。現実のそういった課題も同時に解決し進めていきたい。



※写真の一部を加工しています。

△菅原議員

介護資格取得に支援すると言っていたがどうなったか。

又資格取得者のパートタイム勤務について検討できないか。

△長屋町長

ヘルパーの資格取得が以前と比べ期間が長くなった。改正するよう要請したい。

パート勤務についてはそれぞれの団体と協議していきたい。

一般質問



△原田議員▽

町民の高齢化が進む中、その消費行動において、身体的、金銭的に厳しくなってきたいます。

特に冬場は足元が悪く、買い物にハイヤー

問 買い物弱者を出さないためには

答 それぞれに合わせた対策を講じる必要がある

を使うという話を聞きます。そんな中、電話注文による配達を中止する店舗が現れたと聞きました。

昨年私が買い物弱者に対し、どのように取り組むのか聞いたところ、その回答は、商工会と連携し担い手の育成、地域経済の活性化に取り組むと言っていました。

今年までに商工会と十分協議したと思いませんので、その内容を聞きたい。

△長屋町長▽

人口の減少、購買力の町外流出等があり、町内商業者は大変厳しい環境にあります。

町としても、商工会と連携し商店との意見交換会を開催しています。また商工会も独自にアンケート調査を行い、問題の把握に努めています。

民需の拡大のためプレミアム商品券への補

助や、店舗整備のための企業振興促進補助等の政策を行っています。またすべての店舗が配達を中止したわけではありません。買い物弱者といわれる方も、他の店に移る等、対策を講じていただきたい。商売は各店舗の努力が必要で、ただ町が応援できるところは、応援していきたい。

△原田議員▽

一昨年も地域活性化について質問しました。しかし現状を維持するだけでも大変難しい事です。つまり将来的には買い物者が出ると想定されます。

出さないために、行政としてどんな事ができるのか。今から検討していくことが大事だと思いが。

△長屋町長▽

買い物弱者といつても、各自状態は異なると思う。例えば、重い荷物

は持つて帰れない、外販車があれば買えるとかです。

対策として、バス・タクシー券の発行増などがあると考え。公共交通機関を利用し、店舗に行く。荷物は配達してもらう。などが考えられる。

つまり一律に買い物弱者対策を考えるのではなく、そのケースに合わせた対策を考える必要があると思う。

△原田議員▽

今後町内の高齢化率は高くなってくる。そうになると、自助・共助・公助が必要となる。

公助が必要となつてから対策を考えるのではなく、今から買い物弱者対策を考えるべきではないのか。

△長屋町長▽

買い物弱者といわれる人を出さないよう、行政として支援していく方向で考えていきたい。



一般質問

問 道の駅屋外施設の改修はするのか

答 全体計画を立てて取り組みたい

△原田議員▽

道の駅敷地内に飲食施設があります。

これらには雨・風をさえぎるものがあります。今後都市間バスの停留所もできると聞いています。今の状況で良いのでしょうか。

お聞きします。

今後これらの施設に雨よけ・風よけの設備を増築する気はないのか。

△長屋町長▽

当初、これらの施設

はテイクアウト用として整備されました。又ログ製品の宣伝も兼ねております。

言い換えれば食堂を想定しておりません。それを承知で出店していることとなります。

天候の悪い時には、道の駅内の休憩スペースを利用していただきたい。そうすれば新たな買い物にもつながると考

△原田議員▽

町外の大半の道の駅には、施設内に飲食場所があると聞いている。屋外にあるのはサブ的なものです。

今後都市間バスが停車するようになれば、飲食に利用する人も出てくると考えられる。

かつては2階に休憩スペースがあったが今はないと思う。これは町外から来る人を取り込めないのではない

今の道の駅は、当初の想定と状況が変わってきている。

今後屋外施設の改修を行う気がないのか聞きたい。

△長屋町長▽

現在道の駅には、ちよい食ベコーナーがあり休憩スペースが設けられている。お客さんにはそこを利用していただきたい。

また道の駅の売り上げを見てみると、天候に左右されている。悪天候のときには売り上げが減少している。

ただ昨年観光協会事務所が道の駅2階に移転した。後は関係団体と情報を共有し、近辺の整備も必要になってくると考えられる。

しかし現時点での施設の改修は、今のところ考えていない。

△原田議員▽

全体を考え直すというのであれば、結構

なことだと思う。きちつとした計画を作ってもらいたい。



道の駅敷地内店舗



任期最終議長挨拶

議長 小野 博實

任期最後の定例議会にあたりまして、議員各位並びに町民の皆様方に一言お礼のご挨拶を申し上げます。

これまで、皆様には、温かいご支援をいただき誠にありがとうございました。心から厚くお礼申し上げます。

顧みますと、平成23年5月の臨時議会において、議員各位のご推挙をいただき議会議長の要職に就き約4年間、非才で微力な私でございましたが、町政の発展と円滑な議会運営に努めてまいりました。

幸いにも皆様のご支援ご協力を賜り、お陰さまをもちまして本日まで大過なく職責を全うすることが出来ました。

心から感謝するとともに厚くお礼申します。

結びになりますが、町勢の発展をご祈念申し上げます。閉会にあたってのご挨拶と致します。

故岩崎議員へ
茂木議員が
追悼演説

3月3日の定例会において昨年12月13日に逝去された故岩崎鎮男議員の在りし日を偲び故人と最も親交の深かった茂木博議員が町議会を代表し、追悼演説を行いました。



議長・議員の活動報告

1月29日～
3月31日まで

【町内行事】

- 1月29日 全員協議会
- 2月4日 越知町児童交流事業に係る小田町長来町交流会
- 2月9日 全員協議会
- 2月12日 平成26年度滝上町酪農組合通常総会
- 2月23日 全員協議会
- 2月26日 議会運営委員会
- 3月3～5日 第1回定例会
- 3月4日 西紋別地区総合開発期成会監査
- 3月5日 議員協議会
- 3月13日 溪樹園木質チップポイラー火入れ式
- 3月19日 滝上町教育関係者懇親会
- 3月20日 滝上婦人防火クラブ解散式
- 3月23日 滝上町議会議員会平成26年度決算総会
- 3月31日 滝上町防災会議

【町外行事】

- 2月18日 北方圏国際シンポジウム (紋別市)
- 2月20～21日 オホーツク町村議会議長会定期総会 (遠軽町)
- 3月2日 西紋別地区環境衛生施設組合運営委員会 (興部町)
- 3月23日 紋別警察官友の会親睦・交歓会 (紋別市)
- 3月23日 高橋はるみ知事道政報告会 (紋別市)
- 3月24日 西紋別地区環境衛生施設組合議会定例会 (興部町)
- 3月24日 紋別地区消防組合議会定例会 (紋別市)

最近の町内行事

滝上小学校入学式 4月6日

入学おめでとう!



溪樹園木質チップボイラー火入れ式

3月13日



全国町村議会議長会表彰

去る2月6日開催された全国町村議会議長定期総会において、本町議会から故岩崎鎮男議員と松ヶ瀬哲朗議員の2名が表彰されました。両議員は15年以上町村議会議員として地方自治振興に寄与された功績に対し表彰されたもので、3月3日日本会議場にて議長より表彰の伝達を行いました。



故岩崎議員の布沙子夫人



松ヶ瀬哲朗議員

議会に行こう!

※改選後、初の定例会は**6月中旬**の予定

傍聴は議会活動に触れる最も身近な方法です。皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などを是非、ご覧ください。会議当日の受付で簡単に傍聴できますので、役場3階の傍聴席入り口までお越しください。



(再生紙を使用しています)